

## 第3期教育振興基本計画

～カリキュラム・マネジメント推進会議還流報告～



～2030年度以降の社会を展望した教育政策の

重点事項を提示～

これからの時代を生き抜く人材を育成するため、第2期教育振興計画で掲げた「自立」「協働」「創造」の方向性を実現するための理念を引き継ぎつつ、社会全体で教育改革を進めるための方策を示している。

【個人と社会の目指すべき姿】

【個人】 自立した人間として、主体的に判断し、多様な人々と協働しながら新たな価値を創造する人材の育成

【社会】 一人一人が活躍し、豊かで安心して暮らせる社会の実現、社会（地域・国・世界）の持続的な成長・発展

【教育政策の重点事項】

- ・「超スマート社会(Society5.0)の実現に向けた技術革新が進展するなか「人生100年時代」を豊かに生きていくためには、「人づくり革命」「生産性革命」の一環として、若年期の教育、生涯にわたる学習や能力向上が必要
- ・教育を通じて生涯にわたる一人一人の「可能性」と「チャンス」を最大化することを今後の教育政策の中心に捉えて取り組む

### Society5.0超スマート社会

2030年頃には、第4次産業革命ともいわれるIoTやビッグデータ、AI等をはじめとする技術革新がいつそう進展し、社会や生活が大きく変わることが予測されている。



### 今後の教育政策に関する基本的な方針

- ①夢と志を持ち、可能性に挑戦するために必要となる力を育成する
- ②社会の持続的な発展を牽引するための多様な力を育成する
- ③生涯学び、活躍できる環境を整える
- ④誰もが社会の担い手となる学びのセーフティネットを構築する
- ⑤教育政策推進のための基盤を整備する